

ID: 患者氏名: 様

経過	入院日（経皮的心筋焼灼術前日）	経皮的心筋焼灼術当日（治療前）	経皮的心筋焼灼術当日（治療後）	3日目（治療後1病日）	4日目（退院日）
日付	月 日（ ）	月 日（ ）	月 日（ ）	月 日（ ）	月 日（ ）
目標	治療の内容が理解でき、検査を受けることができる。	予定通りに治療が終了することができる。		合併症出現なく経過できる。	退院指導の内容がわかる。
説明指導教育	<ul style="list-style-type: none">・医師より治療の説明を行います。・看護師が入院生活および治療の説明を行います。（説明後、承諾書を記入し、提出して下さい）（医師・看護師の説明でわからないこと、心配なことがあれば何でもお話し下さい）・御希望により、栄養指導・服薬指導が受けられます。	<ul style="list-style-type: none">・治療中ご家族の方は東6B階病棟でお待ちください。 	<ul style="list-style-type: none">・医師から治療結果について説明があります。・治療した手首は、強く曲げたり、力を入れたり、こすったりしないで下さい。・足を曲げたり、起き上がりは医師の指示の元で行います。指示までベッド上安静臥床の状態となります。・患者さんが落ち着かれましたら、ご家族の方は帰宅可能となります。		<ul style="list-style-type: none">・退院指導を行います。・医師から検査の経過と今後の内服などについて説明があります。（治療直後に行うこともあります）・退院後の生活で、不安な点があれば遠慮なくお聞きます。
治療処置	<ul style="list-style-type: none">・身長・体重を測ります。・体温・脈拍・血圧を測ります。・足背の動脈と大腿の動脈の拍動を観察し印をつけます。・手首の動脈（正中・橈骨）の拍動を観察し印をつけます。・治療に必要な部位（橈骨または大腿）を必要時除毛します。	<ul style="list-style-type: none">・治療の前に排尿し、検査着に着替えます。・尿道に管を入れます（女性）・治療前に点滴を行うことがあります。	<ul style="list-style-type: none">・点滴を継続します。・治療後、4回圧迫している空気を2mlずつ抜きます。・4回目の空気を抜いた2時間後に手首に巻いてあるバンドを外します。・点滴終了後、針は留置したままとします。 	<ul style="list-style-type: none">・カテーテルを入れた部位の消毒を行います。・治療翌日に採血と心電図レントゲンを行います。・症状がなければ留置針を抜去します。 	<ul style="list-style-type: none">・カテーテルを入れた部位の消毒を行います。
検査	<ul style="list-style-type: none">・必要時、採血・胸部X線撮影・心電図、心臓超音波検査、四肢血圧脈波検査を行います 				
生活行動	<ul style="list-style-type: none">・生活に制限はありません。・心電図モニターを装着します。退院時まで装着します。 	<ul style="list-style-type: none">・ベッドで1階のカテーテル検査室へ行きます。	<ul style="list-style-type: none">・治療後はベット上で安静にしてください。・治療後は、トイレまで歩くことができます。（足の付け根から行った場合は、6時間後になります）・手首のバンドを外したら、自由に歩くことができます。		
清潔	<ul style="list-style-type: none">・毛を剃った後、入浴またはシャワー浴ができます。 			<ul style="list-style-type: none">・傷の状態に異常がなければ入浴できます。 	<ul style="list-style-type: none">・傷の状態に異常がなければ入浴できます。
食事	<ul style="list-style-type: none">・治療食となります。（カロリー・塩分制限）・水分に制限はありません。	<ul style="list-style-type: none">・午前治療は朝食が出ません。・午後治療は昼食が出ません。 	<ul style="list-style-type: none">・治療後、吐き気がなければ飲水・食事をすることができます。 		
内服薬	<ul style="list-style-type: none">・今まで飲んでいた薬を変更することがあります。				<ul style="list-style-type: none">・退院時内服処方が必要に応じ出ることがあります。
観察			<ul style="list-style-type: none">・カテーテルを入れた所の出血の有無を確認します。・止血用のバンドがきつすぎないか確認します。・帰室後1時間毎に3回、体温・脈拍・血圧・橈骨動脈の拍動の観察を行います。		
その他	<ul style="list-style-type: none">・治療の状況により、足の付け根の動脈からの治療になる可能性もあります。		<ul style="list-style-type: none">・治療終了後、造影剤を早く排泄するために、水分（お茶・水）を多めにとりましょう。		
備考					

注）予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。